

令和4年度第三者評価 改善状況報告書

令和5年5月31日

施設名	区立障害者グループホーム芝浦	施設所管課	保健福祉支援部障害者福祉課
所在地	港区芝浦3-5-34	指定管理者	社会福祉法人長岡福祉協会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和5年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和5年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
グループホームの次のステップへの移行について検討していくことでグループホームを必要とする区民の新たな受け入れを期待したい		令和4年度は1名の退所、入所の受け入れを実施している。	担当者会議を開き、利用者の障害特性を考慮し、どのような社会資源を有効に使えるか検討するとともに、地域移行が適当である利用者に勧めていけるよう、環境を整備する。	入居者の体調により、食事・入浴等の一部介助が必要となった場合も、バックアップ施設（入所施設）の支援体制を参考に利用者に合わせた支援を提供できました。今後も引き続きバックアップ施設との連携を図っていきます。
強度行動障害などの重度障害者の受け入れ体制の構築が期待される		令和4年7月に、障害者グループホーム芝浦のサービス管理責任者が強度行動障害支援者養成研修（基礎）を受講済みである。	施設管理者は、令和5年10月に実施される強度行動障害支援者養成研修（基礎）を受講する。他職員についても研修に参加できるよう申し込みしている。また、強度行動障害支援者養成研修（実践）もあわせて受講するようにする。	研修を積極的に受講し、受講内容を職員間で共有しています。今後入居者が重度化・高齢化しても引き続き入居できるように、職員体制など施設の課題について検討していきます。
業務継続計画（BCP）を踏まえた紙のマニュアル等のさらなる標準化を推進してほしい		各種マニュアルデータについては、PDFファイル変換し、保管していることに加え、緊急時などPCが使用できない際にも確認できるよう、職員がいつでも閲覧できる場所（施設内事務室）に紙媒体の保存（印刷しファイリング）も実施している。	少なくとも1年に1回は更新が必要か内容を確認し、各種マニュアル更新時には、データや紙媒体を新しく作成し、差し替えを行う。	感染症発生時の対応については、BCPの策定とあわせて、各入居者の状況に応じた対応や動線の検討も行われています。施設に配置されている職員が少ないため、それぞれで対応に差が出ないように、マニュアルの標準化を進めていきます。